

環境調査結果のお知らせ

令和8年5月4日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で6,400 cells/mL、シャットネラ属が最高で1 cell/mL、主に麻痺性貝毒の原因種とされるアレキサンドリウム属が最高で7 cells/mL確認されました。

ヘテロシグマ・アカシオは5,000 cells/mL（注意基準）を上回りました。今後、本種はさらに増殖する可能性がありますので、十分注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ヘテロシグマ・ アカシオ	シャットネラ 属	珪藻	アレキサンドリウム 属
	(m)	(°C)		(mg/L)				
A 中学校前 (2.6m) 【09:13】	0	19.0	12.4	10.0	6,400	0	2,700	0
	2	21.3	30.6	10.3	0	1	4,600	7
	5	21.0	31.9	8.0	0	0	1,900	4
	10	20.2	32.3	6.1	0	0	1,400	2
	底層 12	19.9	32.4	4.1	0	0	800	0
B 光松 (2.7m) 【09:30】	0	19.8	19.6	9.9	100	0	8,250	0
	2	21.5	30.5	9.2	0	0	2,800	4
	5	21.0	31.8	6.9	50	0	1,550	6
	10	20.3	32.4	5.9	0	1	1,000	0
	底層 16.5	19.6	32.8	3.4	0	0	350	0
C 大鹿 (2.8m) 【09:42】	0	20.1	20.2	9.8	75	1	-	0
	2	21.3	30.5	8.6	0	0	-	6
	5	20.9	31.9	6.7	0	0	-	2
	10	20.4	32.4	6.0	0	0	-	0
	底層 16	19.5	32.8	3.4	0	0	-	0
D 水試小割前 (2.8m) 【09:56】	0	19.8	20.9	9.2	0	1	-	0
	2	21.1	30.9	8.1	0	0	-	0
	5	21.0	31.7	6.8	0	0	-	3
	底層 8.5	20.7	32.2	5.8	0	0	-	0

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				浦ノ内湾
ヘテロシグマ・アカシオ	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月
アレキサンドリウム属	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 中学校前

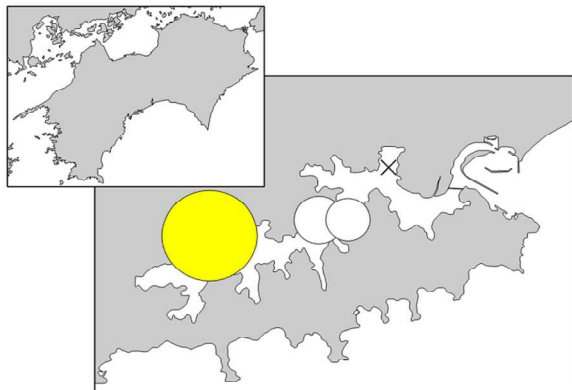
B: 光松

C: 大鹿

D: 水試小割前

ヘテロシグマ・アカシオ

最大細胞密度



シャットネラ属

最大細胞密度



珪藻

最大細胞密度



アレキサンドリウム属

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ
円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0 × 1~9 ● 10 ○ 100 ○ 1,000 ○ 10,000 ○ 100,000 ○ 300,000 ○

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。
基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

